

海外移住 資料館 だより

Japanese Overseas Migration Museum News No.42

2016
Summer

日本人の海外移住は100年以上の歴史があります。

JICA横浜 海外移住資料館では、海外へ移住し、それぞれの国や地域で新しい文明作りに参加してきた日本人移住者の歴史と、その子孫である日系人について広く理解を深めてもらうことを目的に、さまざまな資料を展示しています。

■発行元：JICA横浜 海外移住資料館
神奈川県横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜2階
Tel:045-663-3257 (代) URL:<http://www.jomm.jp/>
■編集発行人：JICA横浜 海外移住資料館 館長 朝熊由美子

企画展示

二つのオリンピック —スポーツがつないだ日系社会—



左上：リオ五輪ブラジル代表のシャーレス・コウシロウ・チバナ選手
(写真：Roberto Castro/Fotos Publicas)

左下：日系人がデザインしたリオ五輪マスコット「ヴィニシウス」(左)と
パラリンピック・マスコット「トム」

右上：リオ五輪の聖火トーチも日系人がデザインした

右下：ヘルシンキ五輪水泳1,500m自由形で、金、銀、銅を日本人・日系人が独占
(写真提供：岡本テツオ)

7月16日(土)~9月25日(日)

8月5日から夏季オリンピック・パラリンピックが、ブラジル・リオデジャネイロで開催されます。

当資料館ではオリンピック開幕にあわせて7月16日(土)から9月25日(日)まで、企画展示「二つのオリンピックスポーツがつないだ日系社会」を開催します。

過去のオリンピックでの日系人の活躍や移住先国のスポーツ発展に大きな役割を果たした日本人、日系人を紹介するほか、南北アメリカ大陸の日系人が競う「日系オリンピック」についても展示します。

日系社会とスポーツ

日本からの移住者たちは、娯楽としてさまざまなスポーツを持ち込みました。移住した初期の頃は、何も用具を必要としない相撲が人気でした。その後、自分たちで知恵をしぼって用具を作り、野球や卓球なども行われるようになりました。

また、各地の日本人会や移住地では、最大の行事として運動会が行われ、今では、日系人だけでなく地域の住民も参加するイベントとして親しまれています。玉入れやパン食い競争、綱引きなど、日本の運動会と変わらない種目がある一方で、ドラム缶を叩いてつぶすラッタたたきなど、日本では見られない移住地ならではの種目もあります。

運動会は準備から後片付けまで、全員が参加し、一世から二世、そして三世へと、ひとつの行事を通して、親睦を深め、団結を強めるイベントとなっています。

プログラム (Program)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------|
| 1 ラジオ体操
Aquecimento- Radio Taisou | 6 洗濯物ほし
Estender roupa |
| 2 ボール宅急便
Bola Sedex | 風船割りリ
Rev. de est |
| 3 借り物競走
Procurar objetos | 7 なわとびリ
Rev. de pul |
| 4 満水レース
Corrida de encher garrafa | ボール入れ
Bolas na ce |
| 1000m競走
Corrida de 1000m | 百足競走(6
Trenzinho) |
| みかんひろい
Catãr laranjas | 8 宝探し
Procurar te |
| 5 酔っぱらい競走
Corrida de bêbado | 嫁さがし
Procurar no |



ラッタたたき(ブラジル)
記念祝賀運動会に

今大会のマスコットや、聖火リレーで使われるトーチは日系人がデザインしました。

また、ブラジル代表選手として活躍が期待される日系人もたくさんいます。

南米大陸初のオリンピック・パラリンピック開催地となったブラジルには、世界で最も多い、およそ190万人(外務省統計)の日系人が暮らしています。

リオ五輪を盛り上げているブラジル日系人を紹介します。

取材協力：ニッケイ新聞 國分雪月



ブラジルに住む動物や植物で多様性を表現 マスコットをデザインした日系三世 ルシアナ・エグチさん

オリンピックのマスコットキャラクター「ヴィニシウス」とパラリンピックのマスコット「トム」は、ブラジルで有名なボサノバ作曲家、ヴィニシウス・デ・モライスとトム・ジョビンの名前からつけられました。ボサノバはリオデジャネイロで生まれた音楽です。

デザインしたのは、日系三世のルシアナ・エグチさんが経営するサンパウロ市内のアニメ制作会社「バードスタジオ」のチームです。

ルシアナさんは2005年に、共同経営者のパウロ・ムペさんとパソコン2台、ファックスだけで会社を起こしました。

「ヴィニシウス」は、猫と猿、鳥をミックスして、ブラジルに住む動物をイメージし、「トム」は、ブラジルに生息する多様な植物をイメージしています。

マスコットキャラクターを決めるコンペには15社が参加し、8カ月間で3回の審査を経て、最終的に残った3社の中から選ばれました。

「結果を聞いた時は、まるで金メダルを獲得したような気分でした。制作の過程では、まず自分たちが楽しんで、ブラジルのおもしろさを表現したいと思いました。ブラジルにはいろんな人種の人たちがいて、いろんな文化が混ざり合っています。その多様性の素晴らしさをオリンピック・パラリンピックの意義に重ねて表現しました」



ルシアナさん(左)と共同経営者のパウロさん
(写真:國分雪月)

もう一つのオリンピック

みなさんは、日系人だけで競う「オリンピック」があることを知っていますか？
アメリカ大陸各国の日系人たちは、数年おきに、日系国際スポーツ親善大会を開催しています。彼らはこの大会を「日系オリンピック」と呼び、現在までに21回行われています。

第1回大会は、1968年にブラジル・サンパウロで、スポーツを通じて日系人が、国を超えて友好関係を結ぶことを目的に、ブラジル、ペルー、アルゼンチンの3カ国の日系選手が集まって行われました。当初は陸上競技だけで、第4回大会までは毎年行われていましたが、73年の第5回大会から、野球や柔道、水泳などの競技が増え、2〜3年おきに開かれるようになりました。また、80年代から90年代には、アメリカやカナダの日系人も参加するようになり、盛大な大会となっていました。

2014年1月にボリビア・サンタクルスで開催された第21回大会には、9カ国700人の選手が参加し、陸上、柔道、野球など8つの競技が行われました。第22回大会は、今年9月にメキシコで開催されます。

rograma)

競争	9 魚つり競走
cupa no varal	Pescaria
レー	10 暗算競走
ourar bexiga	Corrida de cálculo
レー	タイヤころがし
ar corda	Rolar pneu
sta	11 ラッタたたき
一人一組)	Rev.de bater latas
	12 各区対抗リレー
	Rev. entre seções

ブラジル第一アリアンサの運動会プログラム



ブラジルサンパウロ州第一アリアンサ入植91周年
て) ※ラッタは、ドラム缶の意味



2013年ペルーで開かれた第20回大会。
(写真提供:ペルー新報)

Vuelve a México el mayor de las Américas y busco formarán parte de la l

¿Eres parte de la Coloni

アメリカ大陸最大級の国際日系スポーツ再びメキシコにやってきました！メキシコ代表チームの選手を募集中

9月21日(水)〜24日(土)
メキシコシティでお会いしましょう！

Contáctanos al correo お問い合わせ:
junichi.yoshikai@gmail.com

Más Información:
詳しくはフェイスブックで！

Confraternidad Deportiva Intern



Céu 空

Montanhas 山

Mar 海

chão 大地

日系人の聖火ランナーが使った
トーチを展示する予定なのよ。
本物のトーチをぜひ見に来てね！



テーマはリオの空、山、海、大地 聖火トーチをデザインした日系三世 ローミー・ハヤシさん

8月5日の開会式に向けて、聖火リレーは5月3日にブラジルの首都ブラジリアを出発し、12,000人が交代しながら日本の約23倍の広大なブラジルを95日間かけて駆け抜けます。

聖火トーチのデザインを手がけたのは、日系三世のローミー・ハヤシさん。サンパウロ市のデザイン会社「シェレス&ハヤシデザイン」の共同経営者です。

ハヤシさんたちは、コンペ参加のために200以上のアイデアを出し、8週間かけて最良なものを練り上げました。ブラジル国外からの参加も含めた76社の作品の中から、最終的にハヤシさんらの作品が選ばれました。

真っ白なトーチの底のつまみをひねって伸ばすと、美しい波模様が現れ、波の帯が青や緑、金色に光ります。

「本体の表面には三角の網目模様をあしらいました。これはブラジルの北東地域に多く見られるヤシ科の植物ブリチー(ミリチーヤシ)の実の表面をイメージし、三角の各辺には、卓越、尊敬、友情の意味を込めました。また、波模様は、リオデジャネイロのコパカパーナ海岸の遊歩道に描かれている模様です。波の帯の色は、ブラジル・リオデジャネイロの空、山、海、大地を表しています。頂点の金色は太陽であり、金メダルの意味も込められています」



トーチのデザインを手がけたローミーさん(左)と共同経営者のグスタボ・シェレスさん
(写真:國分雪月)



第22回大会ポスター

金、銀、銅を日本人・日系人が独占！ヘルシンキ五輪水泳

1952年にフィンランド・ヘルシンキで開催されたオリンピックの水泳1,500メートル自由形で、1位に日系アメリカ人の紺野フオード、2位に日本の橋爪四郎、そして3位にブラジルの日系二世、岡本テツオが入り、それぞれ国旗こそ違いますが、日本人・日系人が金、銀、銅メダルに輝きました。

また、岡本選手が獲った銅メダルは、ブラジルの水泳競技での初のメダルとしても話題になりました。



日米時事 (1952年8月3日付)



表彰台を日本人と日系人が独占。右から岡本、紺野、橋爪。(写真提供: 岡本テツオ)

ブラジル日系初の金メダルを目指す日系三世 シャーレス・コウシロウ・チバナ選手

開催国ブラジルの代表として、男子柔道66キロ級で五輪出場が決まったシャーレス・コウシロウ・チバナ選手は、沖縄県系人が多く暮らすサンパウロ市ピラ・カロン地区で育ちました。チバナ選手の家族は、ブラジルでは有名な柔道一家です。

祖父母が、沖縄から1958年にボリビアへ移住。63年にブラジル・サンパウロ市へ移り住み、当時は野菜などを売って生計を立て、チバナ選手の父マリオさんら8人の子どもを育てました。

チバナ選手は、3歳から兄とともに柔道に励み、ブラジル代表選手に選ばれるまでに成長しました。また、沖縄角力大会でもタイトルを総なめにするほどの実力の持ち主で、その経験は、柔道においても生かされているそ

うです。

2015年に行われた南北アメリカ大陸の国々が参加するパン・アメリカン大会では、オール一本勝ちで金メダルを獲得。リオ五輪でもメダル獲得が期待されています。

祖母弘子さんも応援に駆けつける予定で、チバナ選手は「優勝が目標。金メダルをとりたい!」と語りました。

その他、卓球競技で、ロンドン五輪に続いて出場が決まったカロリーネ・アイコ・クマハラ選手や、日本でも「日系15歳の美女」と報じられ話題を呼んだブルーナ・ユミ・タカハシ選手。また、出稼ぎのため来日した両親とともに8歳で来日し、日本の学校でその才能を開花させた、陸上400メートルハードルのマハウ・スギマチ選手(日系四世)など、リオ五輪に出場する日系選手の活躍が注目されます。



シャーレス・コウシロウ・チバナ選手 写真: Roberto Castro/Fotos Publicas
※当資料館ではボルトガルの発音にそって「シャーレス」としています。



カロリーネ・アイコ・クマハラ選手



ブルーナ・ユミ・タカハシ選手

2016年6月10日 **PerúShimpo** 日系新聞

日系人大統領誕生わずか及ばず ケイコ・フジモリ氏 惜敗

6月5日に決選投票が行われたペルー大統領選挙には、アルベルト・フジモリ元ペルー大統領(在職:1990年7月~2000年11月)の長女ケイコ・フジモリ氏が出馬しました。開票の結果、わずかな差でクチンスキ候補の得票がフジモリ候補を上回り当選。再び日系人大統領の誕生となるか注目されていましたが、わずかに及びませんでした。ペルー・リマに本社がある邦字紙ペルー新報でその結果を伝えています。



ペルー新報の紙面より

ペルー大統領決選が遂にクライマックスを迎えた。選挙管理機構(ONPE)は9日午後4時に開票率100%結果発表をした。ペルアノス・ボル・エル・カンビオ党のペドロ・パブロ・クチンスキ候補(77)は50.12%、フェルサ・ボブラル党のケイコ・フジモリ候補(41)は49.88%でその差は約3万9千票となり、公式にペドロ・パブロ・クチンスキ氏の当選が決まった!5日から始まった大決戦の勝敗が決まった。

日本での投票ではケイコ候補が大勝利

海外からの投票結果が発表される中、日本での投票が注目を集めた。有権者1万385人が投票、フジモリ候補82.121%、クチンスキ候補17.879%とその差は圧倒的な結果となった。(後略)

TOPICS

Topic-1

日本学生海外移住連盟OB会より 文献資料を寄贈いただきました

4月27日、日本学生海外移住連盟(学移連)OB会から、同連盟の活動を記録した報告書や記念誌など69点が当資料館に寄贈されました。

学移連は、昭和30年に中南米に憧れ海外雄飛を夢見た全国の大学のサークルで組織され、最盛期には約70大学が加盟していました。その活動は平成9年まで続き、多くのOBが北中南米へ移住し、日系団体のリーダーとして活躍しています。

寄贈式では、松田潤治郎会長から朝熊由美子館長へ目録が手渡されました。寄贈いただいた資料は、図書資料室(海外移住)で閲覧できます。



朝熊館長(右から3人目)に目録を贈呈する松田会長(左から2人目)と学移連OB会役員のみなさん

Topic-2

朝熊由美子新館長が 着任しました

4月1日に着任いたしました。一人でも多くの方に海外移住資料館を訪れていただき、約150年の海外移住の歴史や、今日の世界各地での移住者・日系人の果たす役割・貢献についてご理解を深めていただけるよう、またそれを通じて世界に約319万人以上といわれる移住者・日系人や日系社会と日本との関係をさらに強くし、次世代に繋いでいけるよう、努める所存です。よろしくお祈りいたします。



次回予告

Information

田島さゆり写真展 鏡像の祖国

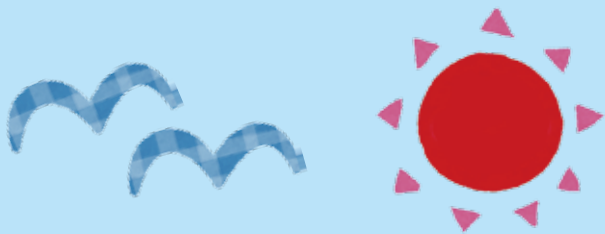
—アルゼンチンの日系人たち—

10月15日(土)~12月11日(日)企画展示室

アルゼンチンに定住した最初の日本人は、1886年に英国船の乗組員としてアルゼンチンに入港し、その後コルドバに住んだ牧野金蔵だといわれています。今年はそれから数えて130年にあたりますが、アルゼンチンにも多くの日系人が暮らしていることは、あまり知られていません。

当資料館では、アルゼンチンに住む日系人の暮らしぶりを、写真家田島さゆりさんの作品で紹介いたします。





ミュージアム・ミッション

～博物館からの挑戦状～

7月16日(土)～8月31日(水)

みなとみらい地区にある6つの博物館からのミッションにチャレンジしよう!
ミッションをクリアするとスタンプがもらえるよ。

ミュージアム・ミッション関連企画

JICA横浜 館内ツアー!

8月23日(火) 13:30～14:30

●定員10名(予約不要、子ども優先の先着制)

JICA横浜ってどんなところ?

海外移住資料館のバックヤードから、海外の研修員が勉強するセミナールームや会議室、国際色豊かな料理が並ぶレストランなど、JICA横浜のありとあらゆる場所をご案内します。ツアーの最後は、絶景を眺めながら南米のジュースでサウージ※!

(※ポルトガル語で乾杯の意味)



なつやすみイベントスケジュール

子どもアドベンチャー2016

かるたで遊んでタイムスリップ!

8月17日(水) 10:00～16:00

●予約不要 ●目安時間30分

移民カルタで移住者の歴史や経験を楽しく学びましょう! 参加者には資料館オリジナル国旗缶バッジをプレゼントします。

コラボ企画

カップヌードルミュージアムとのコラボ企画



8月2日(火)～8月31日(水)

期間中に2つの施設で入館手続きをした方に、カップヌードルミュージアム&JICA横浜のオリジナルグッズをセットでプレゼントします!



海外移住資料館周辺マップ



- 開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)
- 休館日 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日)、年末年始
- 入館料 無料

アクセス

- みなとみらい線 「馬車道」駅(4番出口)から徒歩約8分
「みなとみらい」駅(クイーンズスクエア方面改札)から徒歩約15分
- JR線・市営地下鉄 「桜木町」駅から(汽道→ワールドポーターズ→サークルウォーク)徒歩約15分

企画展示

二つのオリンピック —スポーツがつかない日系社会—

7月16日(土)～9月25日(日)

入場無料

リオ五輪の聖火リレーで使われた本物のトーチを展示予定です。(8月上旬以降を予定)

